

2018年5月31日

## 抗酸菌症治療薬の開発候補品の導入および共同研究に関する Hsiri Therapeutics 社とのライセンス契約の締結について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または「当社」）は、このたび、抗酸菌症治療薬の開発候補品の導入および共同研究に関する契約を Hsiri Therapeutics, Inc.（本社：米国ペンシルバニア州、CEO：William Claypool, M.D.、以下「Hsiri 社」）との間で締結しましたので、お知らせいたします。なお、本件は 2018 年 5 月 9 日に発表した戦略的事業投資の一環です。

Hsiri 社が創製した本開発候補品は、新規の作用機序を有しており、既存の抗酸菌症治療薬を上回る臨床効果が期待されます。また、当社の感染症領域の低分子創薬力を活かし、Hsiri 社との共同研究を通じて中長期的に継続して開発候補品の創製を目指してまいります。

このたびの契約締結により、本契約に基づく開発候補品の全世界における独占的開発・製造・販売権を当社が獲得いたします。当社は、契約締結に伴う一時金ならびに今後の開発進展などに応じたマイルストーン、製品上市後の販売額に応じたロイヤリティを Hsiri 社に支払います。

抗酸菌症は、抗酸菌（非結核性抗酸菌（NTM）および結核菌）に感染することで起こる疾患です。NTM 症は近年、日本を含む先進国において患者数の増加が報告されています。既存の治療薬は治療期間が長く治療効果が十分ではないことから、効果の高い新薬の開発が期待されています。結核は世界三大感染症<sup>1</sup>の一つであり、全世界の新規患者は年間 1,040 万人と報告されています<sup>2</sup>。近年、多剤耐性結核菌および超多剤耐性結核菌の出現が社会問題となっており、これらの結核菌に有効な治療薬の開発が期待されています。

塩野義製薬は「創薬型製薬企業として社会とともに成長し続ける」ことを経営目標として掲げた中期経営計画 SGS2020 の中で、「世界を感染症の脅威から守る」を当社が取り組むべき社会課題の一つにあげております。当社は、Hsiri 社との提携を通じ、人々の健康を守るために必要な感染症治療薬を、世界中の患者さまのもとにいち早くお届けできるよう、引き続き努力してまいります。

1. HIV/エイズ、結核、マラリア
2. WHO: Global Tuberculosis Report 2017

以 上

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社 広報部

TEL : 06-6209-7885